

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成28年3月17日 (2016.3.17)

【公開番号】特開2014-208579(P2014-208579A)

【公開日】平成26年11月6日 (2014.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-061

【出願番号】特願2014-63151(P2014-63151)

【国際特許分類】

C 0 1 G 35/00 (2006.01)

B 0 1 J 35/02 (2006.01)

C 0 1 B 3/04 (2006.01)

B 0 1 J 27/24 (2006.01)

【F I】

C 0 1 G 35/00 C

B 0 1 J 35/02 J

C 0 1 B 3/04 A

B 0 1 J 27/24 M

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月27日 (2016.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一次粒子径が 7 0 n m 以下であることを特徴とする、 $B a_2 T a_2 O_7$  粒子。

【請求項 2】

拡散反射スペクトルにより測定される波長 8 0 0 n m における光吸収率が、0 . 2 5 以下であることを特徴とする、請求項 1 に記載の  $B a_2 T a_2 O_7$  粒子。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の  $B a_2 T a_2 O_7$  粒子の製造方法であって、  
タンタル化合物と、バリウム化合物と、疎水性錯化剤を混合し水に溶解させた金属含有前駆体を含む水溶液に、水分散型有機ポリマー粒子を添加し、  
乾燥および焼成することを特徴とする、 $B a_2 T a_2 O_7$  粒子の製造方法。

【請求項 4】

前記水溶液が、親水性錯化剤を含むことを特徴とする、  
請求項 3 に記載の  $B a_2 T a_2 O_7$  粒子の製造方法。

【請求項 5】

請求項 3 又は 4 に記載の  $B a_2 T a_2 O_7$  粒子の製造方法において、  
前記焼成の温度が、7 0 0 以上 1 1 0 0 以下であることを特徴とする、  
 $B a_2 T a_2 O_7$  粒子の製造方法。

【請求項 6】

請求項 1 又は 2 に記載の  $B a_2 T a_2 O_7$  粒子を、窒化処理することを含む、  
 $B a T a O_2 N$  粒子の製造方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の  $B a T a O_2 N$  粒子からなる、水分解用光触媒。

【請求項 8】

請求項 6 に記載の  $\text{BaTaO}_2\text{N}$  粒子からなる、誘電体材料。